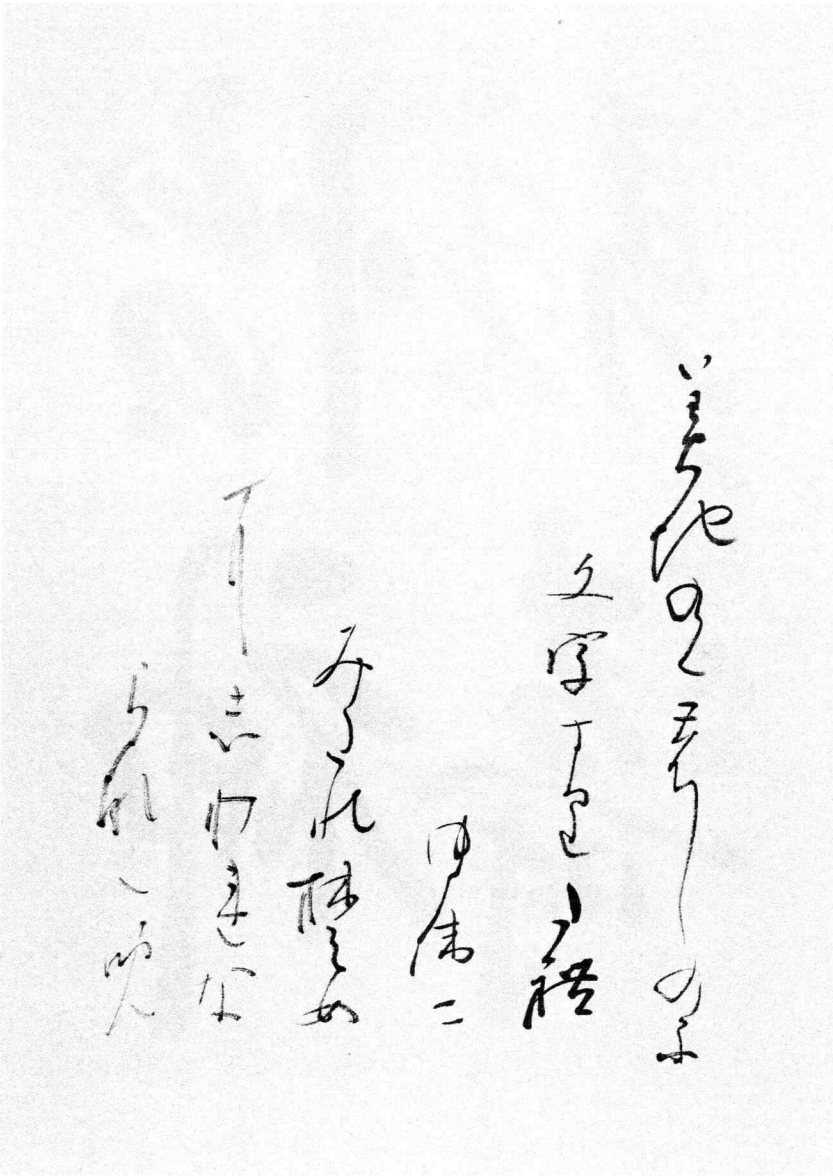


『百人一首』 中村素堂先生の仮名散らし書きの魅力 (十三)

みちのくの しのぶもぢずり誰ゆゑに 乱れそめにし我ならなくに

河原左大臣 かはらのさだじん



〈歌意〉

「陸奥のしのぶずりの(乱れ模様の)ように、あなた以外のだれかのために心乱れ始めてしまった私ではないのに。」この歌は『古今集』(恋・七二四番)に出ています。「しのぶもぢずり」は福島県信夫(しのぶ)地方から産する乱れ模様の布。

(河原左大臣)

源融(みなもとのおと)。弘仁一三(八二二)年〜寛平七(八九五)年、七四歳。嵯峨天皇皇子。

〈字母〉

美^み地^ちのく農^のしのぶ
 文^も字^ちす里^り多^だ禮^れ
 耳^みに多^だれ楚^そめ
 志^しわ連^れな
 ら那^なく児^に
 ゆ衛^ゑ二^に

中村素堂先生の書

大島香菊様提供

この歌は、下を揃えて高さは同じにならないように書く「木立(こだち)」の書式で書かれています。

(中村青藍)